



岡富中学校 (1年生・121名) よのなか教室 「ふるさとについて学ぶ」 令和7年6月20日(金) 13:40~15:20

岡富中学校の1年生が、「延岡のヒト・モノ・コト」というテーマで講話を聞きました。講師は、
岡田 明利さん(岡田花店・代表取締役)
向山 幸希さん(延岡市商工観光文化部・観光戦略課)
山根 俊輔さん(山根製作所・代表、建築家)です。

岡田さんは、「まつりのべおか」の実行委員の一人として、ばんば踊りのギネス認定までに取り組んだことや、延岡市に本物のミッキーマウスを呼ぶまでに至った経緯



【岡田 明利さん】



【向山 幸希さん】

などをお話され、「何でも楽にはできないが、できないことは何もない」と、挑戦することや、一所懸命に取り組むことの大切さを教えてくださいました。

向山さんは、主に「延岡市の食と文化」について、お話をしてくださいました。延岡の魅力を知り、延岡の魅力を伝えていくことが、県内外から人を呼び込み、延岡市の活性化にもつながると説明してくださいました。

山根さんは、延岡駅のエンクロスの設計に携わった経験から、出身地ではないけれど、延岡が好きであること、どんなことでも、好きかどうかは、まず「知る」ことから始まると、いくつかの事例を示して話してくださいました。



【山根 俊輔さん】

子どもたちも、たくさんの気づきや驚きがあったようで、「ふるさと延岡」をもっと知りたいという意欲が高まった「よのなか教室」になりました。



【講話の様子】

北川中学校 (1~3年生・44名) よのなか教室 「職業人講話」 令和7年6月30日(月) 13:45~15:15

北川中学校では、毎年、全校生徒を対象に「職業人講話」を行っています。この日は、島野浦学園の生徒たちもオンラインで参加し、貴重な講話を聞くことができました。

今回の講師は、

金井 喬志さん(KANAYA・オーナーシェフ)

安達 奈津子さん(縁在宅クリニック・看護師)

吉弘 和泉さん(虎彦・営業部長)です。



【金井 喬志さん】



【安達 奈津子さん】



【吉弘 和泉さん】

「小さい頃からの夢や今の仕事に就いた経緯」「好きな言葉や普段から大切にしていること」「仕事をやる上でのやりがい」など、3名の講師のみなさんのお話は、生徒たちが、将来の目標や進路を考える上で大変参考になるものでした。



～感想文から～

講話を聞いて、夢をもつ大切さに気付くことができました。僕の夢は、「プロ野球の選手」です。たくさん勉強して、たくさん修行して、自分の夢を叶えたいです。(1年生)

勉強も大切だけど、勉強だけではなく、いろいろな経験をしたかったです。また、出会いと別れがあって成長できているということも心に残りました。(2年生)

虎彦の経営理念である「必笑」で、「失敗してしまっても良い方向に持って行って、必ず笑おう」というのがとても素敵だなと思いました。「ゼロ⇒1へチャレンジ」を大切に、頑張っていこうと思います。(3年生)

岡富小学校 (6年生・71名) よのなか教室「延岡のよさや素晴らしさを学ぶ」

令和7年7月3日(木) 10:05~11:45

岡富小学校の6年生が、延岡のよさや素晴らしさを学ぶために、3名の講師の方のお話を聞きました。

講師は、宮田 卓郎さん(延岡市社会教育指導員、延岡史談会・事務局長)

節賀 誠司さん(いちのにいちご園・代表)

江原 太郎さん(LOCAL BAMBOO INC.・代表取締役)です。



【宮田 卓郎さん】



【節賀 誠司さん】



【江原 太郎さん】

宮田さんは、延岡の歴史について説明されました。400年前の延岡の様子分かる資料を提示し、延岡が栄えた理由を子どもたちに考えさせました。それぞれが考えたことを付箋に書き、グループで話し合いました。その後、全体で発表し合いましたが、宮田さんの説明を聞いて、より理解が深まったようです。

節賀さんは、いちごの品種や栽培の方法などについて、質問を交えて説明してくださいました。いちごが成長する様子やミツバチの受粉のお話の時は、特に関心があったようで、子どもたちは、身を乗り出して聞いていました。異常気象や台風など、仕事をする上で大変なことも詳しく説明してくださいました。

江原さんは、土砂災害や鳥獣被害の原因になっている放置竹林を何とかしたいという思いで、メンマ作りや竹林の管理を始められたというお話をされました。「価値のないものに価値を与える」という基本的な考えをもとに、一次産業の活性化や地域の課題解決を図るためにアイデアを出すことが必要であることを教えてくださいました。

南方中学校 (3年生・17名) よのなか教室「なっとくの進路決定をめざして」

令和7年7月11日(金) 9:20~10:30

南方中学校の3年生が、「なっとくの進路決定をめざして」というテーマで、細川 真由美さん(キャリアコンサルタント)の講話を聞きました。

南方中学校では、毎年、3年生の早い時期に、将来の進路についてしっかり考えることが大事だということで、参観日を利用して、生徒と保護者が一緒に講話を聞いています。

細川さんは、進路を考える上で大事なこととして、「なっとく」という言葉を挙げられました。そのために、①「自分の将来の夢や希望をはっきりさせる」②「どうすれば、その夢や希望を実現できるか考える」ことが大切だと説明され、自分が何をやりたいのか、それを実現するために、ちゃんと考えて生きているか、ということ振り返ってほしいと話されました。

授業の後半では、ワークシートを活用して、高等学校等の進路選択の条件を親子で考えました。子どもと大人では、選択の優先順位が異なる点が出てくると思いますが、「なぜ、そうなのか」という理由を家庭で話し合っ、て、「なっとく」の進路選択につなげられたら良いですね。



【細川 真由美さん】



【保護者と一緒に】

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0053 宮崎県延岡市幸町3丁目101番地 延岡駅西口街区ビル3階 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682

水永正憲 ☎ 080-4002-8167

✉ mizmas228@gmail.com

敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539

✉ sate815@ma.wainet.ne.jp

酒井康行 ☎ 090-2587-7837

✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp